

# 拠点所在地

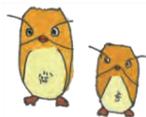
- 1** 社会福祉法人  
ゆうゆう  
〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70番地18  
TEL 0133-22-2896

## 当別町

- 1** 放課後等デイサービスセンター「amaririsu(アマリリス)」  
〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70-18 TEL 0133-22-2896
- 4** ヘルパーステーション「ajisai(アジサイ)」  
〒061-0223 石狩郡当別町弥生1091-6 TEL 0133-25-5137
- 11** グループホーム「清瀬マンション」  
〒061-0232 石狩郡当別町春日町94-22
- 5** グループホーム「ゆうゆうのいえ」  
〒061-3776 石狩郡当別町太美町1488-280
- 6** コミュニティ農園「ぺこぺこのはたけ」  
〒061-3776 石狩郡当別町太美町1481-6 TEL 0133-27-6440

## 江別市

- 7** 放課後等デイサービスセンター「kaede(カエデ)」  
〒069-0864 江別市大麻東町50-31 TEL 011-802-8107



どんな障がいがあっても、どんなに年を重ねても、  
その人らしく、住み慣れた地域で暮らし続けること  
ができる地域づくりを目指して

- 1** 特定非営利活動法人  
ノーマライゼーションセンターによきよき  
〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70番地18  
TEL 0133-22-2896

## 当別町

- 2** 障がい者総合相談支援センター「nanakamado(ナナカマド)」  
〒061-0223 石狩郡当別町弥生52番地 TEL 0133-23-1917
- 2** 居宅介護支援事業所「あったかプランとうべつ」  
〒061-0223 石狩郡当別町弥生52番地 TEL 0133-22-0015
- 3** 共生型オープンサロン「Garden(ガーデン)」  
〒061-0223 石狩郡当別町弥生51-38 TEL 0133-22-0775
- 4** 地域福祉ターミナル「みんなのうた」  
〒061-0223 石狩郡当別町弥生1091-6 TEL 0133-25-5137
- 4** 当別町ファミリーサポートセンター  
〒061-0223 石狩郡当別町弥生1091-6 TEL 0133-22-2886
- 9** 渋谷ダブルツールカフェ北海道医療大学店  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 中央講義棟10階

## 江別市

- 8** 複合型サロン「よるのにじ」  
〒069-0852 江別市大麻東町13-35 TEL 011-376-0644
- 8** 放課後等デイサービスセンター「clover(クローバー)」  
〒069-0852 江別市大麻東町13-35 TEL 011-376-0644
- 10** プチモンド「JUJU(ジュジュ)」  
〒069-0846 北海道江別市大麻桜木町17-11



●イラスト 田村 準起 Junki Tamura  
北海道医療大学ダブルツールカフェで働くかた  
わら多くの味わいのあるイラスト作品を産み出  
している。ゆうゆうのホームページなどで、彼の  
作品が楽しい彩りを与える。本パンフレットの  
各拠点ロゴ等にも彼の作品が使われている。

社会福祉法人  
**ゆうゆう**

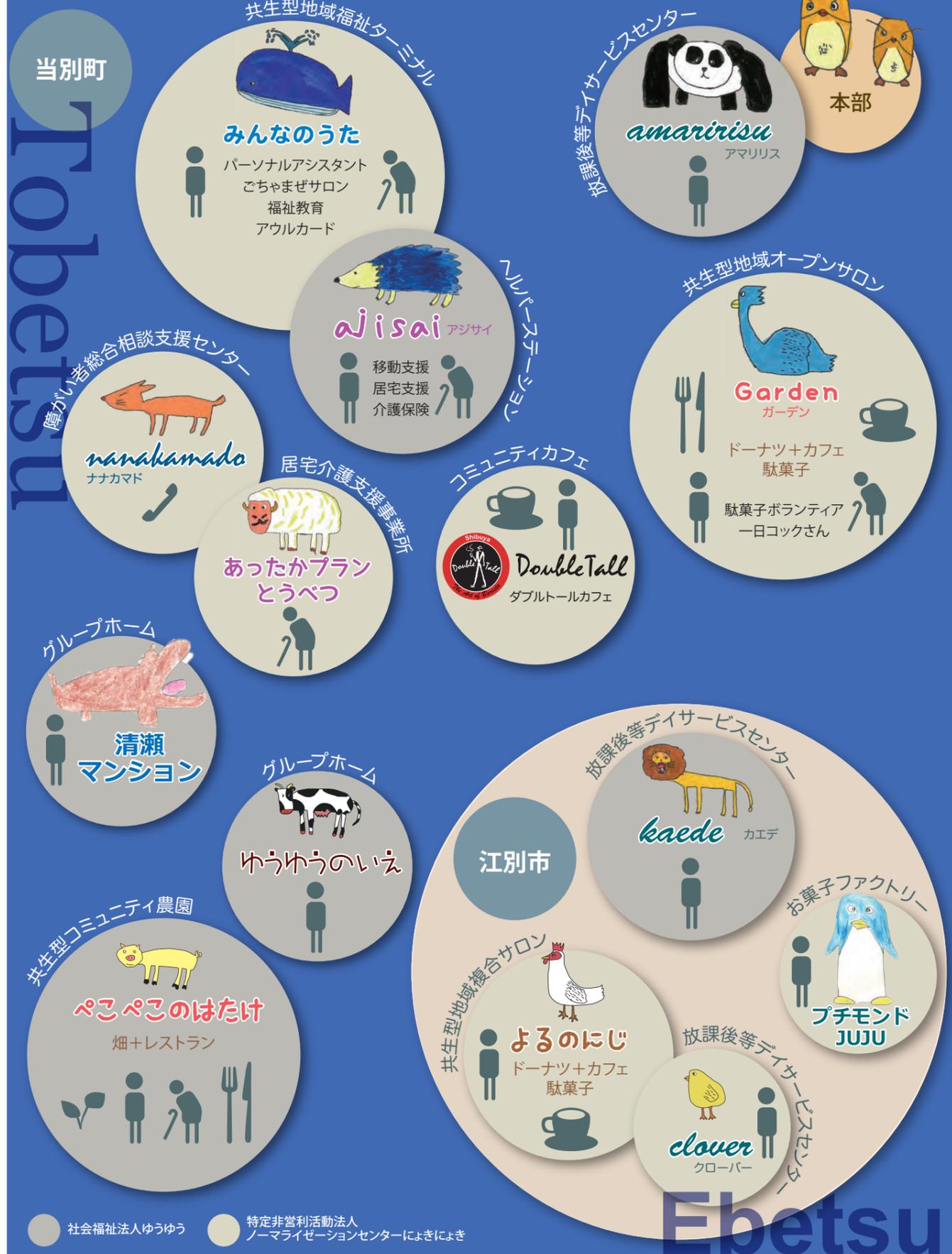
特定非営利活動法人  
ノーマライゼーションセンターによきよき

〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70-18  
TEL 0133-22-2896 FAX 0133-23-0811

# 広がるノーマルなまち創り

## ゆうゆうの活動拠点

すべての住民が活躍できる、さまざまな場とサ  
ービスの提供を通じ、地域全体で支え支えら  
れる共生のまち創りの実現を目指しています。



社会福祉法人ゆうゆう

特定非営利活動法人  
ノーマライゼーションセンターによきよき

**Ebetsu**

# 「地域を創る」



「地域に創る」のでは物足りない。  
私たちは「地域を創る」ことを目指しています。

ゆうゆうが目指す「ノーマルな地域創り」とは、「地域に創られた」あらゆる事業により芽生えた、あらゆる住民の新たな営みが、その空間(施設や事業所やサービスなど)を越えて地域へとつながるようなものであり、限られた空間で完結するものを創り上げる営みではありません。空間を「地域に創る」だけでは物足りない。私たちは様々な福祉アプローチにより「地域を創る」ことを目指しています。

## ひとりのニーズからしか生まれない

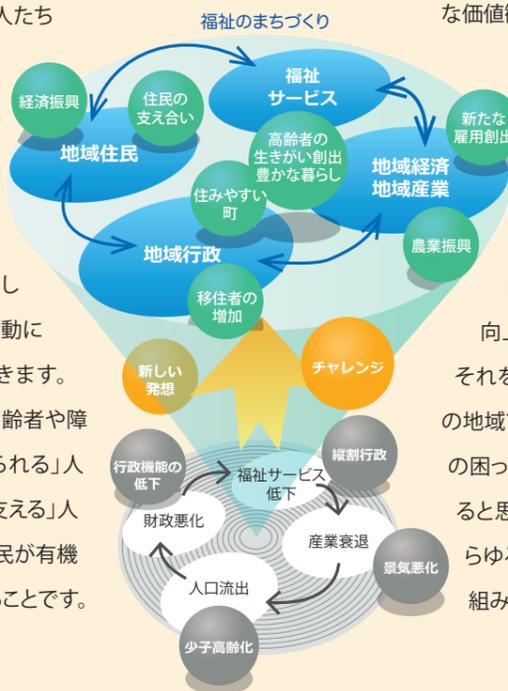
地域住民のあらゆるニーズに応えることが重要であることは間違いありません。たった一人のニーズであっても、しっかりと応えていくこと。実践はここからしか生まれないと考えます。私たちが考えるソーシャルワークとは、ひとりのニーズについてリアリティのあるストーリーを語りつづけて理解者を創り、理解者ととともにひとつの実践を一喜一憂することにあると考えます。

## 目指すべき地域のイメージを語り続ける

地域の中での「新たな支える」の概念を創りつづける

地域福祉の人的資源は専門家や専従ボランティアだけではありません。地域住民の中で、支える人・支えられる人を区別なく、い

ち住民として役割を担っていく人たちが掘り起こしていくことが重要であると考えます。児童・障がい者・高齢者・学生などを含む地域住民が世代を超え、有機的に交流する中で、「支え・支えられる」体験を蓄積していくことで福祉や地域での活動に対する意識を高めることができます。ゆうゆうが目指しているのは高齢者や障がい者など従来の「支えられる」人たちの就労を支援し、地域を「支える」人材を生み出すなど、あらゆる住民が有機的に繋がっている地域を創ることです。



## 過疎地域で福祉の新たな価値観を創りつづける

地域経済の低成長・人口減少・少子高齢化などを背景に、過疎地域の福祉サービスの低下は著しいものです。都会への人口流出・産業衰退・財政悪化の負のスパイラルの中で、福祉行政の困難さに喘ぐ自治体も少なくありません。福祉を基点にこの悪循環にテコ入れをし、よりよく住み続けることのできる地域へと変貌させ、雇用維持・地元産業の活発化を実現し、財政を回復させ、さらなる福祉サービス向上を目指し、新しい発想のなかで福祉の新たな価値観を創ります。

ないものは創る。社会的な制度や仕組みを言い訳にしない時代が必要としている実践を創りつづける。過疎地域では、福祉施設や専門の人材の充実が非常に難しく、縦割り・横割りの福祉サービスの仕組みは、うまく馴染まなくて、福祉サービスの向上につながらないかもしれません。しかしながら、それを言い訳にしたところで何も変わりません。私たちの地域での福祉の強みは、都市部では把握しにくい「その困っている人」に手を差し伸べることができることにあります。だからこそ私たちは、「あらゆる住民にあらゆる住民が手を差し伸べること」のできる社会的な仕組みを創りつづけます。

## ゆうゆう2014年の展開

地域資源を活用した福祉のまちづくり4つの新局面

### 児童早期療育を目的とした児童発達支援事業の創設

H26.9事業開始

景気悪化により使われなくなった社屋を有効活用

障がいの診断、もしくは疑いのある未就学児童

日常生活や将来の社会的自立につながるスキルを身に付ける。

早期の  
・適正な環境  
・適正な情報  
・適正で専門的な支援

連携

保育所・学校等

小学校入学以降も放課後等デイサービス～さらに将来を見据えて

生まれてから生涯一環性のある専門的で充実したサポート

### 老朽化アパートを活用した多機能型グループホームの開設

H26.5事業開始

地域で負担になっている老朽化したアパートを有効活用

少子高齢化  
所有者の高齢化  
土地・建物の償還終了  
固定資産税が負担  
入居者減少

自立した生活へのトレーニングの場

見守りのある暮らしの場

改装

地域社会での自立した生活へ

独立した住居

グループ住居

ヘルパー

障がいのある人たちの暮らしのステップアップ

地域が必要とされている、障がい者の多機能型グループホームへの転用

### 福祉工賃向上を目的とした医療大学における人気カフェの運営

H26.4.8 事業開始

渋谷ダブルツールカフェ 障がい者就労によるフランチャイズ運営

ブランド力による集客にぎわい(地域活性化)

就労の場 障がい者

地元特産物の販売

地域業者

地元農産物を活用した商品の販売

農業者

地元ブランドPRの場 地産地消 障がい理解

学生・教員 地域の大きな消費力

消費拡大

北海道医療大学 中央講義棟10階

### 旧スキー場を活用した住民参加型の農業福祉連携拠点

H26事業開始

医療法人

施設入居者の活動の場

自然を生かしたアクティビティ

トレッキング 山菜採り

新鮮安心野菜

販売拡大

すぐそばに温泉!

地域住民の交流の場

バーベキュー

農園

・規格外野菜の有効活用  
・技術ノウハウの提供

野菜の箱詰め 地域交流など

雇用

就労活動の場 障がい者、高齢者等

農業者

# 江別市

江別市のみなさまからの強いご要望があり、2006年に江別市に障がい児デイサービス拠点を開設、サポートを開始しました。現在、2拠点3事業を江別市で展開しています。



## 子どもの思いに寄り添って

江別市のデイサービス拠点 kaede (カエデ) は、北海道指定の児童デイサービスセンターとして、「子どもの思いに寄り添った支援」を理念にサービスを提供しています。



放課後等デイサービスセンター

**kaede**  
カエデ



〒069-0867 江別市元野幌町147-17  
TEL 011-802-8107

利用時間 月～金13:00-18:00  
土・日・祝・学校休 10:00-18:00



スポーツやレクリエーションを通じた集団活動で協調性を育む支援を提供します。



みんなで地域の商店街で買い物に行く相談をする。社会的自立を目指します。



放課後の宿題や学習、余暇活動を一人ひとりに応じてサポート。写真はパズルをする子供。

## 地域の中で自立心を育む

共生型地域複合サロン「よるのにじ」の2階にあるclover(クローバー)は、地域社会のなかで自立心を育む支援を心がけています。

### 児童の思いに添った支援

- 放課後の余暇支援
- 社会的スキルアップの支援
  - ・コミュニケーションのスキルアップ
  - ・お買い物の練習
  - ・宿題や課題の取り組み等
- 長期休みの支援  
とりわけ中高生向け過ごしのプログラムを実践しています。



放課後等デイサービスセンター

**clover** クローバー

利用時間 月～金13:00-18:00  
土・日・祝・学校休 10:00-18:00

〒069-0852 江別市大麻東町13-35 TEL 011-376-0644

## 地域住民が集い交流する場



子ども、高齢者、学生、障がいのある方などあらゆる地域住民が集い交流を深める拠点です。また、障害者自立支援法に基づいた障がい者の就業支援と障がい児の放課後の余暇支援を行っています。

### 就労継続支援B型事務所

「よるのにじ」Gardenのノウハウを生かし、江別産食材を用いて作ったドーナツを販売しています。駄菓子コーナーもあり、地域の子どもたちだけでなく、高齢の方々も懐かしんで訪れます。よるのにじは、地域のコミュニティの場として、あらゆる方が集う場になっています。

- ドーナツやカップケーキの製造と販売
- 喫茶店の運営
- 駄菓子の販売
- 江別市特産品の販売



ご相談ください

居宅介護支援事業所

**あったかプランとうべつ**

〒061-0223 石狩郡当別町弥生52番地  
TEL 0133-22-0015

利用時間 9:00-18:00 休日 土・日・祝日



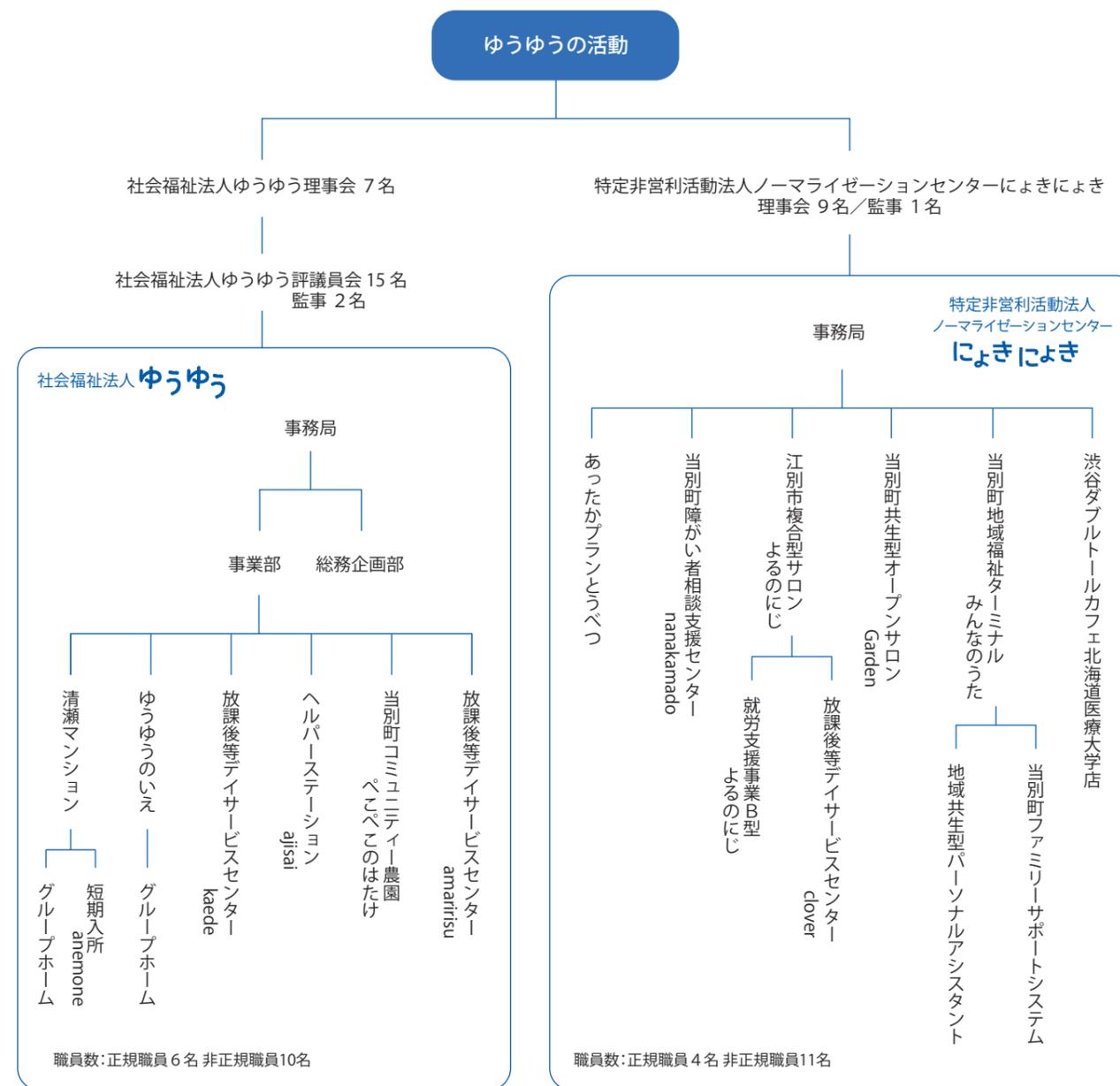
## 地域介護を支える

### 適切なケアプランをご提案します

要介護認定を受けた方(要介護1～5の認定のついた方)が、ご自宅で生活しながら、介護サービスを利用する際に、ケアプランを作成し、利用されるご本人やご家族、サービス事業者との連絡調整を行います。地域で暮らされる方が、要介護状態となっても安心して暮らし続けられるように、適切なケアプランを作成し、自宅生活をサポートいたします。要介護認定の申請に関する相談や申請の代行、介護についてのご相談にも応じています。



# ゆうゆうの組織



パート職員70名(うち大学生57名) ※2013年8月現在

# 沿革

- 平成14年
  - 北海道医療大学ボランティアセンターとしての機能設置
  - 文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」選定
- 平成17年
  - NPO法人取得「当別町青少年活動センターゆうゆう24」
- 平成18年
  - 当別町ノーマライゼーションセンターによきよき創設
  - 江別市に新たな拠点kaede創設
  - 当別町障害者相談支援事業委託
  - 当別町ファミリー・サポートセンター事業委託
  - 夕張市での取り組み
- 平成20年
  - 当別町共生型地域福祉ターミナルみんなのうた創設
  - 当別町共生型地域オープンサロンGarden創設
- 平成22年
  - 江別市共生型地域複合サロンよるのにじ創設
- 平成23年
  - NPO法人ゆうゆうに名称変更
  - 当別町共生型コミュニティー農園ぺこぺこのはたけ創設
- 平成24年
  - ゆうゆうのいえ創設
  - 夕張支部が一般社団法人取得により独立運営
- 平成25年
  - NPO法人ノーマライゼーションセンターによきよきに名称変更
  - 社会福祉法人ゆうゆうを設立
- 平成26年
  - 北海道医療大学にて渋谷ダブルツールカフェを運営開始
  - 日本財団の助成を受け清瀬マンションをGHとして改修・運営開始

## 当別町で「共に」地域をつくる コミュニティカフェ

広く地域住民の方が利用し、つながり、理解し合い、同じ地域で共に生きていることが実感できるまちづくり目指して。



障がいのある方が地域住民の行き交う場所で人と触れ合いながら、自分らしく成長することができる就労活動の拠点をめざします。  
地域住民の方と一緒にランチを提供する「1日コックさん」の取り組みや、高齢ボ



ランティアとの関わりを通し、社会の一員としての役割を持ち、人と人が相互に理解し、支え合うことを経験しながら地域で自立した生活を送れるように支援します。



地域住民が集うサロン  
趣味や関心のあることを通して、地域住民が集い交流を深める機会を持てるようチャリティーコンサートや会食会、クリスマス会など多彩なイベントを開催しています。



地域住民の交流の場として、障がい者が主体となって喫茶店と駄菓子屋さんを運営。こだわりのコーヒー、ジュースを始め、地元の米粉を使った手づくりドーナツまで、幅広い世代の方に喜ばれるメニューをご用意しています。

### 共生型地域オープンサロン Garden



〒061-0223 石狩郡当別町弥生51-38  
TEL 0133-22-0775

利用時間 10:00-17:00 休日土・日・祝日

## 支え合う ボランティア活動

### 一日コックさん

地域住民が「一日コックさん」となり食事を提供。メニューも価格も「一日コックさん」自身が決めます。障がいのある方も一緒に、配膳したり、注文をとったり働きます。プロはPRやメニュー開発の場として、アマは趣味を活かした交流の場になります。



ボランティアのみなさんが、障がいのある方の就労をサポートしたり、駄菓子屋さんで子ども達の遊び相手をしたり、たくさん役割を持って活躍しています。活動を通して地域住民全体の交流の輪を広げ、共に支え、見守る関係を作っていきます。

### 駄菓子ボランティア

昔から変わらないお菓子、遊び心のあるくじなど、子どもから高齢の方まで世代を越えて誰もが懐かしい駄菓子を豊富にそろえています。高齢の「駄菓子ボランティア」が、子供たちをやさしくお出迎え。



## 就労を軸とした 生きがい再発見の場

当別町の基幹産業である農業を通じて、子どもから高齢者、障がい者、学生など、あらゆる住民が集い、活動できる交流拠点です。



### ホテル料理長監修の 和食レストラン



「地産地消」がコンセプトの本格レストラン。地元で採れた新鮮な食材を使用し、食材本来の味を活かしたお料理を提供します。もちろん、併設する農園で育て、収穫された食材もレストランで調理し、採れたて新鮮な味を提供します。



顧問アドバイザー  
三浦 繁美氏

札幌ロイヤルホテルやセンチュリーロイヤルホテル、ルスツリゾートホテルなどで料理長を務める。現在は、光塩学園調理製菓専門学校にて調理技術専攻講師、札幌中央製菓にて調理師会副会長を務める。

●地場食材をふんだんに使用



### 共生型コミュニティ農園 ペコペコのはたけ



〒061-3776 石狩郡当別町太美町1481-6  
TEL 0133-27-6440

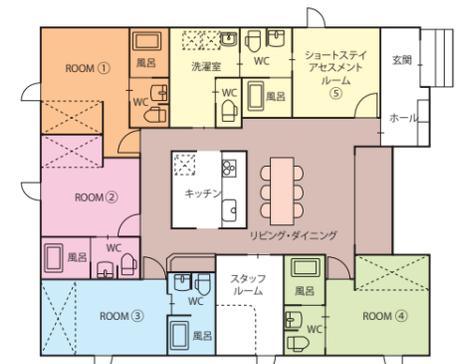
利用時間 10:00-17:00 休日土・日・祝日

- 障がい者、高齢者が地域で役割を持ち、経験を活かしていきいきと活動することのできる場を目指しています。
- 障がい者が地域密着のレストラン従業員、農業従事者として働く場
- 高齢者が経験を活かした社会参加活動や農園就労する場
- 子どもが集い、遊び、学ぶ場
- 団塊の世代が企画行動力でイベント開催などに力を発揮して輝く場



## 障がいのある生活を 快適に過ごす場所

共同生活介護事業所「ゆうゆうのいえ」は、ここで暮らす方々が、一住民として地域で活動し暮らす場であり、自立した社会生活を営むことができるよう、個々の状態や環境に応じて共同生活住居において入浴や食事といった日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う拠点です。



各部屋に風呂・トイレを完備、自立した生活をイメージした作りになっています。また人の行動・感覚特性を考慮し自在に光量を調整できるダウンライトの設置など、入居される方々が安心して落ち着いて暮らせるよう隅々まで配慮されています。

### グループホーム ゆうゆうのいえ

〒061-3776 石狩郡当別町太美町1488-280

## ボランティア活動情報を一元管理 地域福祉を支え、推し進める

総合的ボランティアセンター  
当別町の豊富なボランティア資源を有効活用するため、高齢者と学生ボランティアの点在情報を集約。有機的に連携・運動させます。

ボランティア活動で介護予防推進  
高齢者が役割を持つことで生きがいを感じ、介護予防にもつながります。また、そのような社会貢献から自ら主体的な活動を行う組織づくりの可能性を見つけます。

### 福祉教育

福祉教育の推進拠点  
当別町教育委員会、北海道医療大学、各種学校機関と連携。地域福祉計画の理念である「福祉を文化に」すべく、幼少期から成人期、高齢期にいたるまでのライフステージを通じた生涯学習プログラムの構築をめざしています。



どちゃまぜサロン  
小さな子から高齢の方までみんなで話し合い一緒に作り上げるサロン。世代を超え交流する場です。特技や趣味、知識や経験を生かして企画し運営する主体的な地域振興活動で、気兼ねなく参加できます。外出がおっくうで地域との関係が希薄になりがちな高齢の方が楽しんで参加し、やりがいや生きがいを見出せる場となっています。



ファミリー・サポート  
0歳から小学校6年生までの育児で支えを必要とする人が、育児を支えることができる人にサポートを依頼できる仕組みです。当別町の委託事業です。

## 人材を 育成する

## 子ども達を 支える



## 「個」を知り 真のニーズに応える

## 地域での子育てを応援 子どもたちの笑顔と笑い声がいっぱいです♪

amaririsuでは、子ども達一人ひとりに合わせた支援の提供、さまざまな体験を通じた余暇サービスの充実に取り組んでいます。1人ひとりのお子さんに個別支援計画に基づいた支援を行っています。



- 社会福祉士・介護福祉士・ホームヘルパー等の専門員がお子様を支援します。
- 学校と情報を共有し支援の統一を図っています。
- ゆうゆうの拠点を利用して、就労に向けたお仕事体験も実施しています。
- 地域住民との交流と地域に根差した支援を展開しています。
- 関係機関とも連携し将来の自立に向けた適切な療育を行います。

### 放課後等デイサービスセンター

### amaririsu アマリリス



〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70-18  
TEL 0133-22-2896

利用時間 月～金13:00-18:00  
土・日・祝・学校休 10:00-18:00

子ども、高齢者、障がい者など、年齢や障がいの種別を越えた「地域住民の交流」を図り、「困ったときはお互いさま」の精神で地域福祉を支えるさまざまな住民のボランティア活動情報を集積し、推進するための拠点です。



地域住民が公的制度ではなかなか提供できない通勤支援や犬の散歩の支援、買い物支援などを行う有償ボランティアです。大学教員や福祉関係者が講師となりヘルパー3級程度のオリジナルカリキュラムを設けています。自らの特技や趣味を生かせるなど福祉サービスの提供者というよりも、一住民としての役割を果たします。

地域交流の場としてどなたでもご利用できます。団体やサークル活動の場としてぜひ活用ください。良質の木のおもちゃや絵本をたくさんご用意。子育てママたちのコミュニケーションの場にも。

一人ひとりの特性を「個」と捉え、本人の意思や出来ることを大切にしながら、真のニーズに応えるための実践を着実に積み重ねていくことを目指します。

- 移動支援事業  
障害者自立支援法に基づく外出支援を行います。「個別支援型」「グループ支援型」「移送車両型」と個々のニーズに合わせた外出を組み立てます。
- 居宅支援事業  
居宅において自立した生活ができるよう、利用者の状況・環境に応じて生活全般にわたる相談・助言・援助を行っています。
- 訪問介護事業  
高齢者宅へのヘルパー派遣、入浴・排泄・食事等の介護等の支援を実施。日常生活をサポートします。

### アウルカード

●地域通貨カードにポイントが貯まります！  
ボランティア活動でポイントが貯まり、地域の加盟店で使える商品券などに引替えることができます。

●ボランティア・コーディネイト  
ご相談に応じて、さまざまなボランティア活動等を行っています。お気軽にご相談ください。

一人暮らしの高齢者宅にお弁当と安心をお届けする配食ボランティアなどの手配や町内施設へのボランティア派遣などを行っています。

### 共生型地域福祉ターミナル みんなのうた



ヘルパーステーション

### ajisai アジサイ

〒061-0223 石狩郡当別町弥生1091-6  
TEL 0133-25-5137

利用時間 9:00-18:00  
休日土・日・祝日



## 障がいのある方が住み慣れたまちで 安心して暮らすために

nanakamado(ななかまど)は、障がいのある方たちが住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いします。障がいの種別や年齢を問わず、支援を必要としている方をサポートするのはもちろん、ご家族や関係機関、地域で支える住民の方たちからも幅広く相談をお受けし、みなさまのより良い生活の実現を目指します。

- 24時間受付 職員がすぐに対応できない際は折り返します。
- 来所の際は、訪問中など職員が不在の場合がありますので事前にお電話ください。
- みなさまのご希望日時に合わせて訪問相談もお受けします。お気軽に電話でお問合せください。

### 当別町障がい者総合相談支援センター

### nanakamado ナナカマド

〒061-0223 石狩郡当別町弥生52番地  
TEL 0133-23-1917 FAX 0133-23-1909

利用時間 9:00-17:00 休日土・日・祝日

